

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 033	提案機関名 畜産技術センター
要望問題名 各家畜の飲水量の把握	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 家畜の成育や生産性には飲水量が大きく影響を与える。適切な水量を設定して設置した配管等も、管の劣化や異物付着で内径が細くなったり、例えば乳牛では牛の大型化・泌乳量増大で、時間当たり給水量が不足していることが考えられる。 そこで、畜産技術センターで飼養する各家畜で、飲水量(給水量)を把握し、指標を満たしているか、満たしていない場合は成育や生産性に影響があるか等を確認し、畜産農家へ支援する際の基礎的数字を作成していただきたい。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部企画研究課
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 水分要求量は、泌乳牛については、NRC 飼養標準によると「水の摂取量 (kg/日) =15.99+1.58×DMI (kg/日) +0.99×乳量 (kg/日) +0.05×ナトリウム摂取量 (g/日) +1.20×最低温度 (°C)」と指標が示されています。 豚や採卵鶏についても、日本飼養標準に指標が示されていますので、畜産農家へ支援する際の基礎的数字は、これらを利用して頂きたいと思えます。			
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			